

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス KID ACADEMY塚口校				公表日	2025年 2月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	活動に十分なスペースを確保し、動線を考慮し荷物棚、収納棚などの配置を工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	基準配置は常に満たしています。	送迎業務に指導員の手が取られてしまうことや、1：1の補助が必要な子供がいると人手が足りないと思うこともある。子供の特性一人一人に寄り添うためには人員が多い方が指導員の余裕にもつながり、支援がより充実すると考える。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	7	0	子どもの手が届くところに遊び道具や本、教材を設置し、どこに必要なものがあるかを把握できるようラベリングするなど工夫をしています。ハサミやテープカットなど危険な道具は指導員の許可をもらう仕組みにして安全面への配慮をしています。時間割や送迎時間など視覚化して、時間把握や語彙のサポートを促すものを提供しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	支援室、トイレなど毎日の掃除、消毒を徹底し清潔に保たれています。子どもが触れる位置に手指消毒やティッシュ等も配置して、おやつ前後に机を拭いたり手を消毒するなど子どもが自分で清潔にすることができるような環境を作っています。	床のマットが古くなってきているので交換を検討していきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	支援室内の小スペースや事務室を使って必要に応じて個別の対応ができるようになっています。また、パーティションの用意もあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	日々のミーティングで共有をしています。	出勤職員間でのみの情報共有になってしまうことがある為、今後はお休みの職員にも共有がしっかりとできるように回覧などを活用していきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎年行っており、それを受けてミーティングし改善を図る時間を設けています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日々のミーティングをはじめ普段から積極的にコミュニケーションを取り、円滑な業務やより良い支援のための連携が取れています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		第三者の外部評価は現在、行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	社内研修、外部講師による研修、リスニングなど様々な研修を受ける機会があり、常に学びながら業務にあたっています。	職員全員が受講ができるように今後も工夫をしていきたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	HPで公表されています。利用者には月ごとのカリキュラムスケジュールを連絡帳に挟んで配布しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者と子どもの要望、子どもの現状や家庭環境を関連づけてサービス計画を考えています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	ミーティング、モニタリング会議で指導員の考察・意見の共有がされ、それらが反映されています。		

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	定期的に個別支援計画の確認をしながらミーティングを行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	個別支援計画のアセスメント、インフォーマルなアセスメントを通じて、こどもの行動や特性、支援内容を細かく共有できています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	個別支援計画の更新に伴い、職員全体で項目に沿った話し合いができています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	複数の指導員で相談することで、それぞれのプログラムが次につながるように工夫して立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎月のテーマに沿った非認知カリキュラムを考え、週単位で変えて提供しています。運動カリキュラムも一週間意図的に同じテーマで行い、毎週内容を発展させる工夫をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動、少人数集団、全体活動など様々な組み合わせでカリキュラムが行えるよう工夫しています。子どものその日のコンディションに臨機応変に対応できるよう事前に細かな打ち合わせをしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	日々のミーティングでその日の流れやねらいを共有し、役割分担をしています。また必要に応じて担当する子どもと職員をあらかじめ決めていきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	送迎業務があるため、その日の振り返りは全員そろって行うことが難しいため、日報にメモを残したり、翌日のミーティングで共有をしています。翌日休みの場合は職員間で連携して共有する工夫をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々サービス提供記録をとっています。また、重要なことは業務日報に書き留めたり、子どもの課題によって個別ファイルを作成し記録を分類しています。考察もその時々で書き留めることで振り返ることもできています。記録の抜けがないようにチェックリストの活用など職員間で補い合いながら取	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	面談前のモニタリングに加え、気になる様子がある子どもがいた場合や、一時的に密な支援が必要な子どもの様子など常に情報共有しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2		地域交流が乏しいので指導員間でも共有し、今後検討していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもが主体となって取り組める活動を意識的に取り入れ、常日頃から子供自身が自分の感情や意思に気づきそれを発信できるよう、自主性、自己解決力を育てるための声かけを職員一同行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	相談支援事業所とのモニタリングは指導員が、会議などは管理者や児発管が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	必要に応じて相談支援事業所や学校、他の事業所との連携を行っています。	保険・医療とはまだ連携できる余地があると感じるので今後は連携をより深めていけるように考えていきたい。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	年間計画や行事などは保護者の方から連絡をいただいています。送迎時のトラブル発生時の対応など学校や児童ホームと連絡を適切に行っています。		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	当社内の児童事業所と引き継ぎの連絡をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7	該当児童がいません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	他事業所主催の施設支援講座などに参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	現状は関わりがなです。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	利用日の送迎時に最近の様子をお聞きしたり、その日の様子を申し送りしてコミュニケーションを図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	保護者会、親子ワークショップなど開催しています。	今後頻度を増やし、保護者がもっと参加しやすい工夫をしていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	面談時、送迎時、問い合わせがあったときに丁寧に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	集団カリキュラムの中でも、個々のニーズを考慮し支援するよう心掛けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	面談時、個別支援計画の説明を丁寧に言い、保護者から同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要に応じ電話などで相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	7	現状は実施できていません。	今後は、保護者同士の交流ができる場も検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	管理者、また必要に応じて本社と連携を取り対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	公式LINEの活用、マンスリーレターの発行、イベントの案内ポスターなどで情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	SNSの使い方、イベント時の事前に撮影許可を確認するなど留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	ホワイトボードの活用、イラスト、ラベリングなどで視覚化をしたり、パニックの時に意思の疎通がスムーズにできるよう必要な子どもとはあらかじめ対応を相談したり学ぶ機会を設けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	現状はできていない。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に委員会、会議、訓練を行っており、保護者にはマンスリーレポートで周知しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	7	0	契約時にアレルギー・服薬の聞き取りをしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー対象の食品を扱わないようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	実際の支援現場を想定して、研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	マンスリーレポートにてお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット発生の共有はすぐに行い、別日に会議を設定しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修を受け、職員間で話し合いの機会を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	現在該当者はいないが、想定できる状況を話し合い必要に応じて保護者に事前説明が必要であることを理解しています。		